

令和 6 年 6 月 18 日現在

機関番号：32636

研究種目：研究活動スタート支援

研究期間：2022～2023

課題番号：22K19995

研究課題名（和文）言語資源としての琉球の「神歌」の活用 沖縄諸島を中心にー

研究課題名（英文）Ryukyuan religious songs as a language resource: focusing on the Okinawan archipelago

研究代表者

CARLINO SALVATORE (Carlino, Salvatore)

大東文化大学・外国語学部・助教

研究者番号：60965565

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 2,200,000円

研究成果の概要（和文）：本プロジェクトの第一目標は沖縄諸島の伝統行事で、沖縄諸島で話される沖縄語で歌われる「神歌」のコーパスを構築し、ネット公開することでした。この第一目標に達成し、「琉球神歌コーパス」を作ることができ、ネット公開しました（<http://kamiutaco.net>）。現時点では沖縄県伊平屋村字田名の「うんじゃみ」という祭祀で歌われる「テルコグチ」のテキストが公開されています。このテキストに音素表記、かな表記、グロスと翻訳が付与されています。今後音声も追加し、さらに随時他の地域の歌のデータを追加する予定です。初期版で沖縄諸島を出発点にしましたが、琉球列島全体で歌われるものに拡大する予定です。

研究成果の学術的意義や社会的意義

琉球列島で話される琉球諸語が消滅の危機に瀕しており、記録と復興のためその記述が緊急の課題になっています。近年、これらの言語の記述が進むようになりました。記述の一貫として、談話、民話、民謡にグロスが付与され、言語資源として活用されていますが、今まで神歌を対象にしたものがなく、本プロジェクトで作ったコーパスの神歌を対象にしたのは初の試みになりました。神歌には現代語で見られない特徴が多く見られるため、歴史的研究での活用が期待されます。また、言語と同様継承されていない伝統文化を記録するために重要な役割もあり、社会的意義もあります。

研究成果の概要（英文）：The primary objective of this project was to create and publish an online corpus of traditional songs sung in the Okinawan language, spoken in the Okinawa Islands. This primary goal has been achieved with the creation of the "Ryukyu Kamiuta Corpus," which is now available online (<http://kamiutaco.net>). Currently, the text of "terukoguchi," a song performed during the "Unjami" festival in Dana, Iheya Village, Okinawa Prefecture, has been published. This text includes phonological transcription, kana transcription, glosses, and translations. In the future, audio recordings will be added, and data from songs of other regions will be included as well. Although the initial version started with the Okinawa Islands, there are plans to expand it to include songs sung throughout the entire Ryukyu Archipelago

研究分野：フィールド言語学

キーワード：琉球諸語 沖縄語 神歌 言語ドキュメンテーション 琉球 沖縄

1. 研究開始当初の背景

琉球列島では琉球王国時代(1429-1879年)までさかのぼる伝統行事が行われ、その中で琉球諸語による「神歌」が歌われることがあります。「神歌」は、現地の言語である琉球諸語で歌われます。しかし、日本語への同化圧力のため、琉球諸島の言語が急速に消滅の危機に晒されています。そして、伝統文化の継承も危機にあるとされています。本研究では沖縄語で歌われる神歌に焦点を当てます。沖縄語は琉球諸語の一つであり、若年層への継承が行われていない「消滅に瀕する言語」です。伊平屋島の調査では、方言話者ですら神歌の言語を理解できないことが報告されており、その文化も消滅の危機にある一つの原因といえます。近年、琉球諸語の記述が進み、文法書、テキスト、辞書の作成が行われていますが、言語と文化を両方視野に入れた研究はほぼ見られず、伝統行事の神歌を対象にした研究は見当たりません。

本研究では、沖縄諸島の神歌のテキストにグロス(言語学的注釈)を付与したコーパスを構築し、言語資源としての活用を試みます。神歌には首里方言が多用されますが、各地域の方言も使用される可能性があり、言語接触の結果を観察することが重要です。また、神歌には現代沖縄語にはない特徴や日常会話で使用されない形式が含まれる可能性があり、琉球諸語の言語人類学的研究や歴史言語学研究にとって貴重な資料となる可能性があります。また言語と文化の記録のために重要な役割を果たすものを作る必要もあります。

2. 研究の目的

本研究の目的は、沖縄諸島で行われる伝統行事で歌われる神歌を簡単に検索できる、グロス付きのコーパスを構築し、オンライン公開することであった。これは「琉球神歌コーパス」というインターネットサイトでの公開に至りました(<http://kamiutaco.net>)。構築したコーパスを言語資源としての活用を試みる目的もあるが、一定のデータ整備が現在終了しており、言語資源として、今後活用を予定しています。また、神歌を表記するためのカナ表記法を開発し、現地に読みやすいテキストを提供する目的もあります。現時点で沖縄県伊平屋村字田名の「うんじゃみ」で歌われる「テルコグチ」という歌を公開しているが、紙にし、提供する予定があります。

3. 研究の方法

本研究では、まず沖縄諸島の伝統行事で謡われる神歌のテキスト(歌詞)と音声を収集した。文献調査によって歌の歌詞を収集した。これらはカナ、あるいは仮名漢字まじりで書かれているが、表記法が統一されておらず、そのまま写すのではなく、既存の音声データや筆者の沖縄語の知識などを参考にし、新たなカナ表記法を考えて書き直した。言語分析の過程ではまず音素表記にし、形態素分析を行い、グロスを付与した。歌詞の翻訳は文献にあるものを参考にしながら、必要に応じてより精密な翻訳に変えた。歌詞の翻訳は全体のもの他、より小さい単位でも付与しました。これはグロスがわからない一般のユーザー向けの機能として導入しました。現地の言語の理解を深めるため、現地調査も行った。

4. 研究成果

本プロジェクトの目標はオンラインコーパスの作成でしたが、これは無事達成できました。「琉球神歌コーパス」(<http://kamiutaco.net>)として公開しました。現在、沖縄県伊平屋村字田名で歌われる「テルコグチ」のテキストしか公開されていないが、今後沖縄諸島各地、そして琉球列島各地に拡大していく予定です。琉球神歌コーパスは、言語と文化の保存と記録のため大きな役割を果たせるといえます。

琉球神歌コーパスの特徴を次にまとめます。コーパスが検索できる形になっており、画面の画像を図1で見られます。

「検索条件」では検索した単語などを入力します。右で見られるように正規表現も使用できます。「検索対象」では、検索したい対象を絞って、選べます。対象地域では、奄美、沖縄、宮古、八重山、与那国という単位で「地域」を選びます。そのつぎに市町村、字もしぼって検索できます。「表示方法」のボタンでは、表示したい情報が選べます。以下は検索結果です。左に結果番号、地域、歌名があります。歌名をクリックすれば、その歌全体のテキストの頁に移ります。検索したものが分かる場合、結果で黄色でハイライトされます。「内容」では順番にカナ、音素表記、単位翻訳、形態素分析を行ったもの、グロス、そして全体の翻訳があります。

The screenshot shows a search interface with the following elements:

- 検索条件** (Search Conditions): Includes a search input field and a checkbox for "正規表現" (Regular Expression).
- 検索対象** (Search Targets): Checkboxes for "仮名" (Kana), "音素" (Phonemes), "単位翻訳" (Unit Translation), "形態素" (Morphemes), "グロス" (Gloss), and "全体翻訳" (Full Translation).
- 対象地域** (Target Area): Dropdown menus for "地域" (Area), "市町村" (City/Town/Village), and "字" (Character).
- 検索** (Search) button.
- 表示情報** (Display Information): Checkboxes for "地域" (Area), "市町村" (City/Town/Village), "字" (Character), "仮名" (Kana), "音素" (Phonemes), "単位翻訳" (Unit Translation), "形態素" (Morphemes), "グロス" (Gloss), and "全体翻訳" (Full Translation).
- 表示件数** (Number of Items Displayed): A dropdown menu set to "100".
- 検索結果** (Search Results): A table with columns for "結果番号" (Result Number), "地域" (Area), "市町村" (City/Town/Village), "字" (Character), "歌名" (Song Name), and "内容" (Content).

Two search results are shown:

- 1** 沖縄 伊平屋 田名 テルコグチ
 - 仮名** しまうやぬ うめー ゆでい
 - 音素** simaujanu umee* judi
 - 単位翻訳** 島親の 前 寄って
 - 形態素** sima+uja=nu u-mee jud-i
 - グロス** 島+親=GEN HON-前 寄る-SEQ
 - 全体翻訳** 島親の前に寄って
- 2** 沖縄 伊平屋 田名 テルコグチ
 - 仮名** 喜界からは はじめ
 - 音素** ちちやからや はじみ
 - 単位翻訳** cicjaikaraja hazimi
 - 形態素** cicjai=kara=ja hazimi
 - グロス** 喜界=ABL=TOP はじめ
 - 全体翻訳** 喜界島からははじめ

図 1 検索画面

以上、琉球神コーパスの特徴をまとめました。現在テルコグチしかないが、今後琉球列島各地の歌のデータを随時追加し、拡大していく予定です。そのために各地の研究者と協力する話も進んでおり、こうした神歌を対象にした研究の推進に刺激を与えるといえます。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計0件

〔学会発表〕 計1件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 0件）

1. 発表者名 カルリノ・サルバトーレ、カーズ・バーバラ
2. 発表標題 琉球の神歌コーパス作成について
3. 学会等名 DHフェス2023
4. 発表年 2023年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------